

Granada F ⑳ プチ押え プチは小さいの意味。小玉吹き放し模様の押え意匠。

● 使用材料・使用器具

使用材料

キクスイ 15kg/缶
 プライマースーパーE
 グラナダF 20kg/缶
 専用骨材1厘 20kg/紙袋
 塗料用シンナー

使用器具

計量 秤
 下塗り エアレススプレー等
 基層塗り リシンガン
 模様塗り タイルガン
 模様付け 押えローラー

● 標準施工仕様

(23°C、50%RH)

| 工程 | 使用材料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗り 回数 | 工程間隔時間(hr) | | 備考 |
|------------|---|-------------|-----------------------------|----------|------------|------|------------------------------------|
| | | | | | 工程内 | 工程間 | |
| 下塗り | キクスイ プライマースーパーE | 15kg 無希釈 | 0.1~0.19 | 1 | | 3以上 | エアレススプレー等 |
| 基層塗り | グラナダF | 20kg | 0.8~1.0 | 1 | — | 6以上 | リシンガン 口径:4~6mm 吹圧:0.5~0.6MPa |
| | 清水 | 1~2kg | | | | | |
| 模様塗り | グラナダF | 20kg | 1.4~1.6 | 1 | — | | タイルガン 口径:6~8mm 吹圧:0.5~0.6MPa |
| | 専用骨材1厘 | 5kg | | | | | |
| | 清水 | 0.4~0.8kg | | | | | |
| パターン 付け | 材料を小~中玉模様吹き放し後、塗シンを付けた押えローラーで凸部を押えて、パターン付けする。 | | | | | | 追っかけ 模様付け |
| 養生撤去 | 養生シートなどの撤去を行う。 | | | | — | | 直後又は 乾燥後 |
| 最終養生 | 施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。 | | | | — | 24以上 | |

● 標準施工要領

0. 注意点

- ① プチパターンは薄塗り仕上げであり、下地は平滑であること。
- ② プチパターンは薄塗り仕上げであり、下地は吸い込みムラのないこと。
- ③ プチパターンは薄塗り仕上げであり、乾燥が速いため、施工面積や、日光など考慮し、吹き継ぎムラがでないように施工する。

1. 下塗り

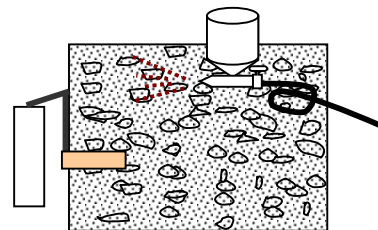
- ① 下塗材は、下地の状況に合わせて、適切な下塗材を選定する。
- ② 下塗りは、下地の吸い込みとそのばらつきを防ぐため、だれ、塗り残しのないように均一に塗り付ける。コーナー部など入隅、出隅は特に入念に塗付する。

2. 基層塗り

- ① 開缶後缶壁に付着した主材を缶内に落とし、一度均一にまぜる。
- ② 主材に、指定量内の清水を加えハンドミキサーなどで均一に混合し、定められた模様になるように粘度を調整する。計量は秤や定量ヒシヤクなどを使用する。
- ③ 基層塗りは、下地がスケないようにリシンガンで吹き付ける。

3. 模様塗り

- ① 主材は定められた仕上りになるように指定された骨材・清水を加え、ハンドミキサーなどで均一に混合する。なお、計量は秤などを使用し、希釈水量はあらかじめ試し塗りして決める。
- ② 模様塗りは仕様にあった施工用具を使用し、指定された所要量を小~中玉吹き放し調に吹き付ける。
- ③ 希釈、ガンの口径、吹き付け圧などの条件設定で、ベタにならないように吹く。



4. パターン付け

- ① 押えのパターン付けは、模様塗り後、追っかけで行う。
- ② 塗シンを付けた押えローラーで、押えムラをつくらないようにバランス良く作業する。
- ③ 押えローラーは絶えず清浄にして、塗シンを付けて使用する。

5. 養生撤去

- ① 養生の撤去は、施工終了後直ちに行う。すぐにできない場合は、材料が完全に乾燥した後、慎重に行うこととする。
- ② 外部施工で、施工後、降雨の恐れのある場合は適切な保護養生をする。
- ③ 足場つなぎ部のタッチアップ補修を行う。